

令和8年度岡山中学校 B 方式入学試験の問題訂正について

・試験当日に次の訂正を行いました。

問題訂正

算数

訂正する場所	2枚め 5 (3) 問いかけ文
誤	(3) 2人が同時にB地点に着いたのは…
正	(3) 2人が <u>はじめて</u> 同時にB地点についたのは…

※解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

①、②、③、④、⑤(1)(2)、⑥(1)(2)(3) の解答らんには、答えのみを記入しなさい。⑤(3)、⑥(4)の解答らんには、できるだけ式や途中の計算を書き、式が書きにくいときには、図などをかいておきなさい。なお、円周率は3.14として答えなさい。

1 次の にあてはまる数を入れなさい。

(1) $37 \times 56 =$

(2) $12 + 3 \div 5 \times 10 =$

(3) $\frac{4}{5} + \frac{1}{6} - \frac{3}{4} =$

(4) $27.5 - 1.72 =$

(5) $3.9 \times 12 + 1.3 \times 22 - 2.6 \times 14 =$

(6) $\frac{1}{3} \div (0.13 + 0.19) =$

(7) $1\frac{7}{9} \div 1\frac{3}{5} \times \frac{3}{20} =$

(8) $7 - \frac{5}{6} \times (\text{ } + 1\frac{4}{5}) = 5$

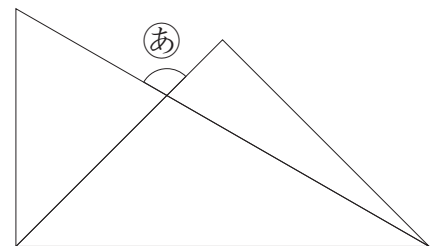
2 次の問いに答えなさい。

(1) ある数と24の最大公約数は8で、ある数と20の最小公倍数は80でした。ある数は何ですか。すべて答えなさい。

(2) $\frac{1}{3}$ より大きく、 $\frac{5}{7}$ より小さい数で、分母が5となる分数は何ですか。すべて答えなさい。

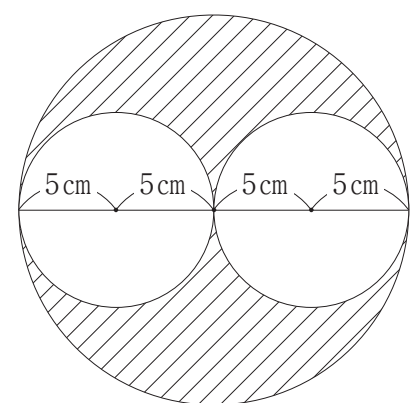
(3) 50人の児童が動物園に行きました。30人以上の団体は2割引きで入園できるので、団体割引を利用すると入園料は50人分で18000円でした。児童1人当たりの通常の入園料は何円ですか。

(4) 右の図のように1組の三角定規を重ねました。㊟の大きさは何度ですか。



(5) 右の図のように大きな円の中に小さな円が2個あり、互いに接しています。

3個の円の中心は、一直線上にあります。斜線部分の面積は何 cm^2 ですか。



3 太郎さんは、2025年12月21日(日)から2026年1月31日(土)の学習計画を次のように立てました。

学習計画

- ①月曜日から木曜日は1日2時間学習する。
- ②金曜日は習い事があるので学習をしない。
- ③土曜日と日曜日はそれぞれ4時間学習する。

(1) 太郎さんが計画通りに学習したとすると、全部で何時間の学習をすることになりますか。

(2) 12月31日から1月4日まで旅行に行くため、その間は学習することができなくなりました。そこで、計画通りの学習時間を確保するために金曜日でも学習をすることにしました。12月21日(日)から1月31日(土)までの旅行の期間を除く金曜日には、1日当たり平均何時間何分の学習をすればよいですか。

4 次の図のように円と2点で交わる直線を引いていきます。下の(1)、(2)の方法で直線を引いていくとき、円の内部が何個の部分に分かれるかを考えます。

(1) 図1のように、すべての直線が円の中心を通る。

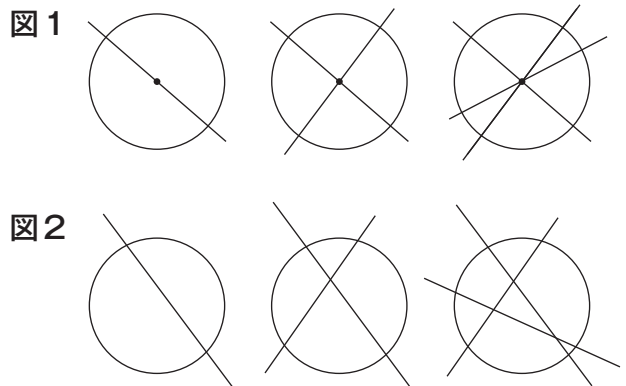
① 8本の直線を引くと、円の内部は何個の部分に分かれますか。

② 円の内部が30個の部分に分かれるのは、何本の直線を引いたときですか。

(2) 図2のように、どの2本の直線も円の内部(円周上は除く)で交わり、どの3本の直線も円の内部では1点で交わらない。

① 8本の直線を引くと、円の内部は何個の部分に分かれますか。

② 円の内部が100個以上の部分にはじめて分かれるのは、何本の直線を引いたときですか。



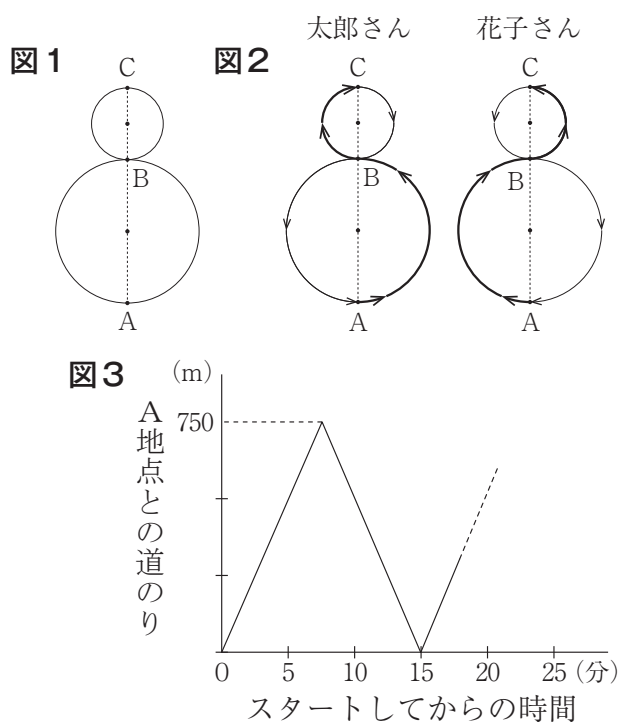
5 図1のような大小2つの円を合わせた形をしたウォーキングコースがあり、大小のコース1周の道のりの比は2:1です。太郎さんと花子さんはA地点を同時に出発し、ウォーキングコースを図2のように、それぞれ一定の速さで歩きます。ただし、花子さんの歩く速さは太郎さんの歩く速さより遅いものとします。

太郎さんと花子さんはウォーキングコースを2周回った後、スタートしてはじめて同時にB地点に着きました。同時にB地点に着いたとき、2人が出会ったのは5回目でした。図3は、スタートからの時間と太郎さんとA地点との道のりの関係の一部を表したものです。ただし、道のりとは、A地点から進んだ道のりとA地点までの残りの道のりのうち、短い方をさすものとします。

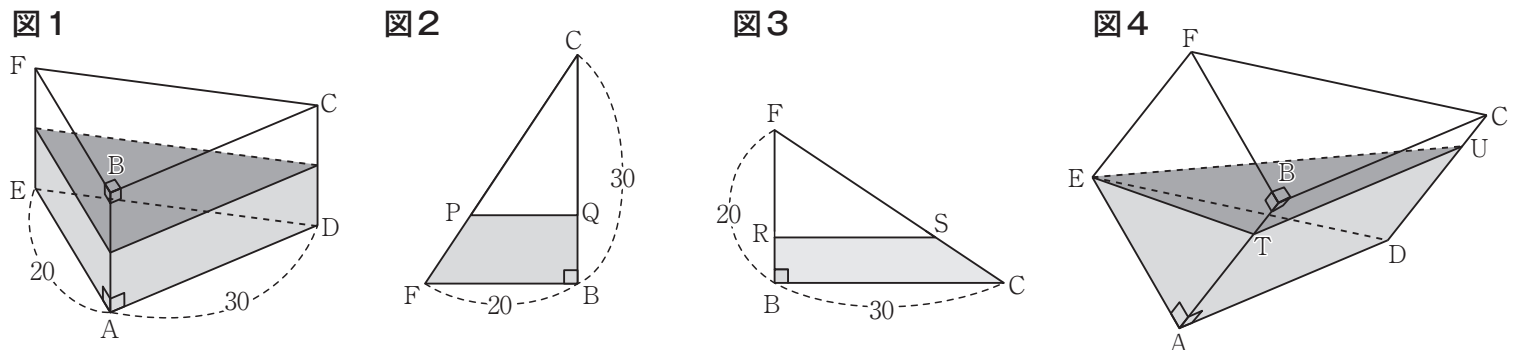
(1) 大きな円のコースの1周の道のりは何mですか。

(2) 太郎さんの歩く速さは毎分何mですか。

(3) 2人が同時にB地点に着いたのはA地点を出発してから何分後ですか。また、花子さんの歩く速さは毎分何mですか。



6 図1のように、底面が直角三角形で、側面が長方形である三角柱の容器を水平な机の上に置きます。容器には水を入れ、水がもれないようにしてあります。この容器をAEを机につけたまま面ABFEが机につくように回転させ、真横から見たものが図2です。このとき、 $PQ:QC = 2:3$ となっています。次に、図1の状態からこの容器をADを机につけたまま面ABCDが机につくように回転させ、真横から見たものが図3です。このとき、 $FR:RS = 2:3$ となっています。水面の高さは、図1、図2、図3の順に3cmずつ低くなっています。さらに図4は、図1の状態から図3の状態へADを机につけたまま少しずつ傾けていき、水面がちょうどEのところを通っているときの様子です。



(1) PQの長さは何cmですか。

(2) 水の体積は何 cm^3 ですか。

(3) 図4において、水面をETUとします。EF上に、 $AT = EV$ となるように点Vをとります。このとき、三角すいE-TUVの体積は、三角柱ADE-TUVの体積の $\frac{1}{3}$ になります。ATの長さは何cmですか。

(4) ABの長さは何cmですか。



算数解答用紙

(3枚のうちの3枚め)

受験番号

6	(1)	cm
	(2)	cm ³
	(3)	cm
	(4)	